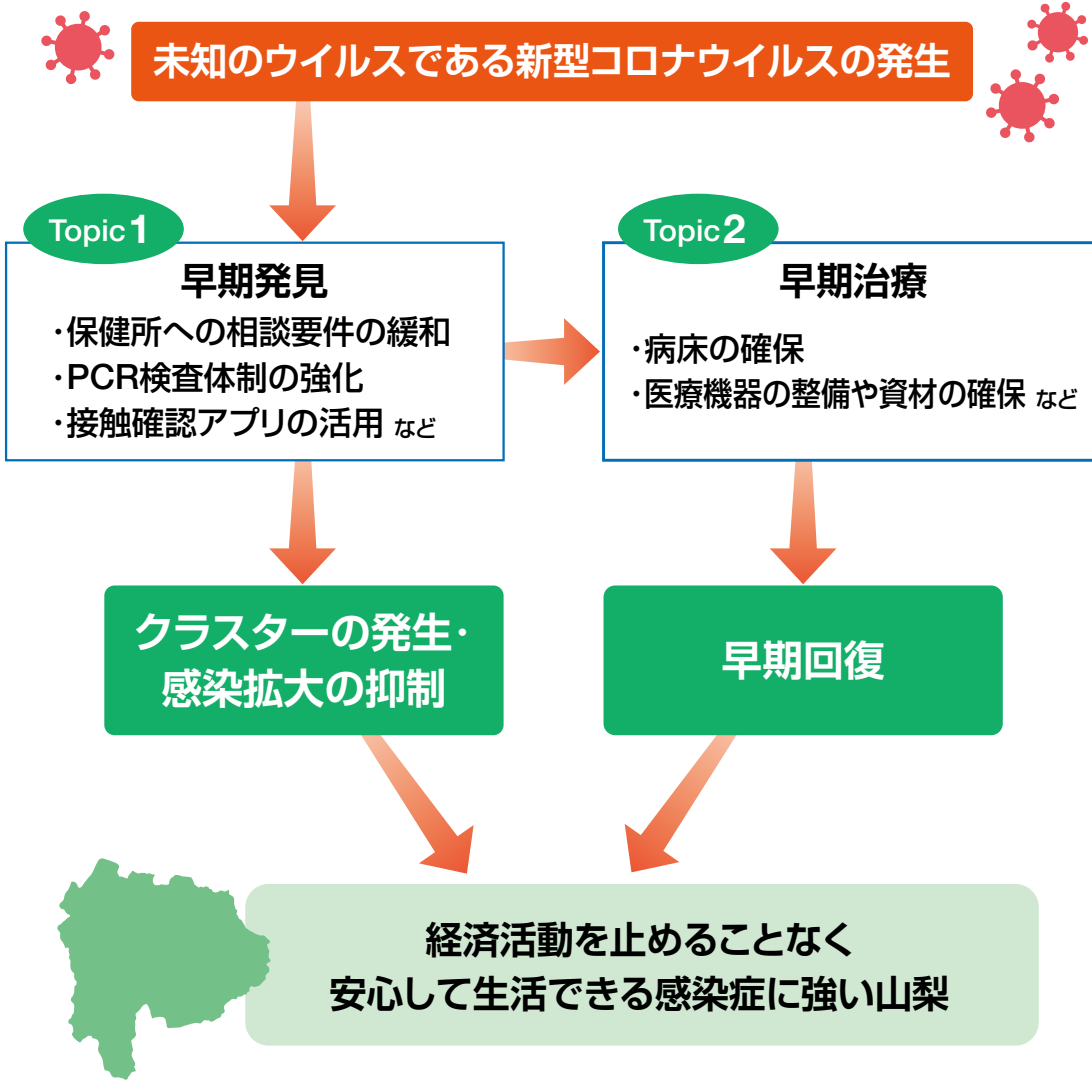


「早期発見・早期治療」を実現するために

県では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、さまざまな対策を講じています。「早期発見・早期治療」を基本原則として、保健所の体制やPCR検査体制の強化を行うとともに、県民の皆さんに必要な医療が確実に提供できるよう病床確保などを進めています。

県の感染拡大防止対策の考え方



感染拡大防止対策のお願い!

- 人混みや3密のある場所を避けましょう
- 身体的距離の確保、マスクの着用、手洗いなどを徹底しましょう

① 人との間隔はできるだけ2m ② マスクを着用し、咳エチケットを守る ③ 手洗い (30秒程度)

新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCoA)をインストールしましょう



COCoAは、新型コロナウイルス感染症の感染者と接触したとの通知を受け取ることができるスマートフォンアプリです。

山梨県では、アプリで感染者と接触が確認された方全員がPCR検査を受けることができます。ぜひインストールしましょう。

App Storeからは
こちら



Google playからは
こちら



感染者を誹謗中傷するのは止め、相談しやすい環境をつくりましょう!

感染は悪でも罪でもありません。予防対策を徹底しても、感染するリスクをゼロにすることはできません。誰もが新型コロナウイルスに感染する可能性があります。感染者を誹謗中傷するようなことは絶対に止めましょう。そして、もし、ご自身に感染を疑うような症状などがある場合はためらわずに最寄りの保健所にご相談ください。

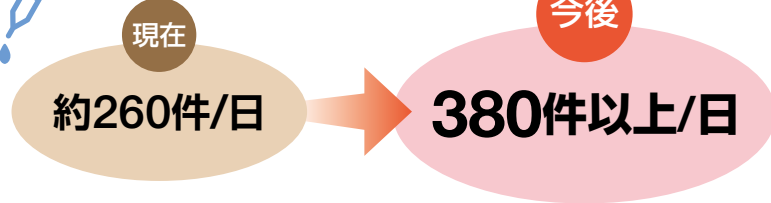
8月6日時点での情報を基に作成されています。

Topic 1

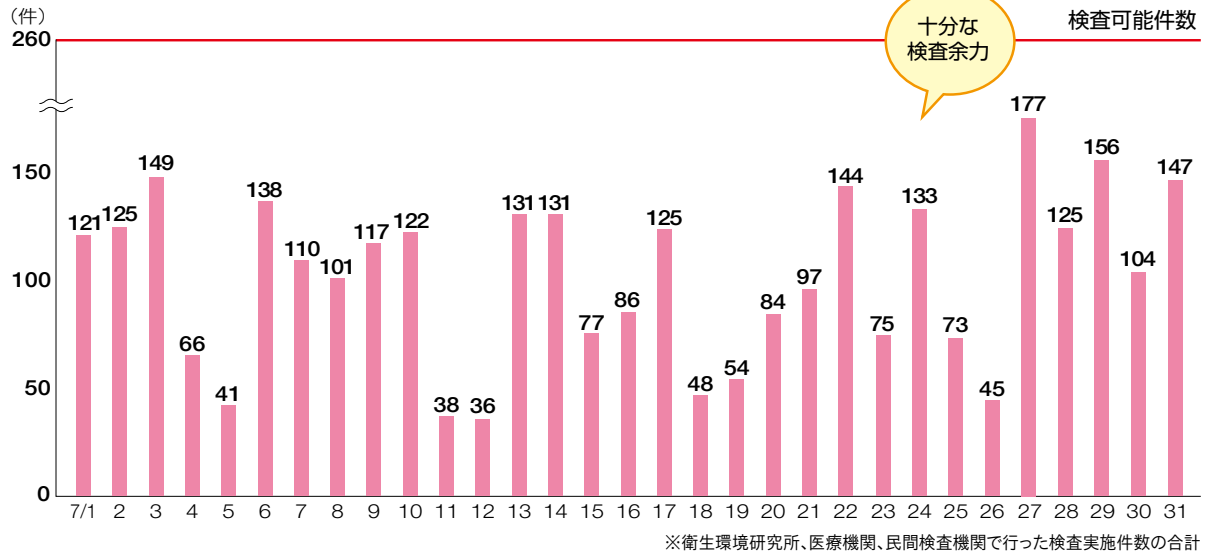
早期発見のためのPCR検査体制について

PCR検査可能件数

現在、本県では、1日当たり約260件のPCR検査が可能であり、最近の1日当たりの検査実施件数を大幅に上回っています。さらに、1日380件以上の検査が可能となるよう準備を進めています。



PCR検査実施件数(7月1日~7月31日)



PCR検査実施件数の比較

行政機関におけるPCR検査の実施件数は、人口10万人当たりで全国トップクラスとなっています。

指標	都府県	山梨県	東京都	神奈川県	長野県	静岡県	大阪府
PCR検査実施件数		930	183	237	167	148	389

1/15~7/31の間に行政機関が行った検査実施件数(人口10万人当たり)

早期に検査を受けることができ、検査の翌日までに検査結果が分かる万全の体制

PCR検査体制を強化し
感染者の早期発見を目指す

県民が相談しやすい環境づくりを推進

PCR検査は、管轄の保健所の指示に基づき、指定された専門外来を受診し、医師の判断により受けることができます。県では、保健所へ相談する基準を国に先駆けて緩和しました。また、新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCA)から、感染者と接触したとの通知を受けた全ての方がPCR検査を受けられるようになりました。このように、県民の方に安心していただけるよう、保健所に相談しやすい環境をつくり、多くの方がPCR検査を受けられるようにすることで、早期発見につながる体制を整えています。

PCR検査体制を強化

行政機関におけるPCR検査の実施件数は、人口比で全国トップクラスとなっています。また、身近な地域で迅速に検査を受けられるよう、県内各地域の拠点的な医療機関に検査機器などを整備しています。現在、1日当たり、約260件のPCR検査が可能となっており、日々の検査実績を上回っているの、十分な検査余力がある状態です。そのため、早期にPCR検査を受けることができ、検査の翌日までに検査結果を出すことが可能となっています。今後は、さらに強化し、1日当たり380件以上の検査が実施できる体制を構築していきます。

病床の確保と医療提供体制の充実 患者の早期治療に向けて

新たな計画に基づき、必要な病床の確保へ

県では、新型コロナウイルス感染症の拡大に備え、まん延期に発生する患者数を新たに推計しました。フェーズ1からフェーズ4までの段階において必要となる病床数と宿泊療養施設の部屋数を設定し、目標である病床250床、宿泊療養施設の部屋100室を確保することができました。

宿泊療養施設においても 適切な医療と快適な環境を提供

民間施設と協力を図りながら、宿泊療養施設においても十分な部屋数を確保しています。検査により陽性となった方は、まず病院に入院し、その後、症状が安定し病院での治療が必要ないと医師により判断された場合は、県で用意した施設に移ります。施設には、医療スタッフや県職員などが常駐し、安心かつ快適に過ごせる体制が整っています。

誰もが安心して 医療を受けられる山梨へ

今後も、さらなる医療機器の整備や資材の確保などを進めていきます。また、透析を受けている方やがん患者など特別な配慮が必要な方にも適切な医療を提供できる環境を整えていきます。

Topic2

早期治療のための病床確保について

病床確保計画

県では、新たな病床確保の計画を立てました。計画では、各フェーズにおいて、確保すべき病床数と宿泊療養施設の部屋数を設定しています。

	フェーズ 1 (警戒期)	フェーズ 2 (拡大初期)	フェーズ 3 (急速拡大期)	フェーズ 4 (まん延期)
発動目安	—	入院患者 30名以上	入院患者 60名以上	入院患者 120名以上
確保すべき病床数	70床	130床	190床	250床 確保済

確保すべき 宿泊療養施設の部屋数	21室	21室	100室	100室 確保済
---------------------	-----	-----	------	---

官民一体で新型コロナウイルスに立ち向かう 県内の宿泊施設が無症状者、軽症者を受け入れ

北杜市内の宿泊施設「若神楼」では、無症状や軽症の感染者の受け入れを行っています。若神楼で療養することとなった場合を想定し、職員が若神楼に体験宿泊した結果を報告します。



「若神楼」に、風呂、トイレ付きの客室を21室確保しています。看護師、保健師などが常に待機しており、必要な場合にはPCR検査のための検体を採取する環境も整っているなど、療養するための体制は万全でした。また、Wi-Fi(ワイファイ)環境、軽運動施設があり、クオリティーの高い食事が提供されるなど生活環境も充実しており、ストレスを感じることなく過ごすことができました。

快適に過ごすことができる部屋を提供(左上)
医療従事者などが常に待機(右上)
Wi-Fiも整備(左下)
朝食に提供されたサンドイッチなど(右下)